



バイエル クロップサイエンス株式会社
東京都千代田区丸の内1-6-5 〒100-8262
<https://cropscience.bayer.jp/>

お客様相談室 ☎0120-575-078
(9:00～12:00、13:00～17:00 土・日・祝日を除く)

●使用前にはラベルをよく読んで下さい。 ●ラベルの記載以外には使用しないで下さい。 ●本剤は小児の手の届く所には置かないで下さい。

(P-3025 18.01.IS)



JAグループ
農 協 | 全 農 | 経 済 連
全農は登録商標 第4702318号

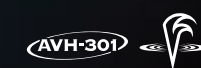


ボデーガード®



技術資料

2成分。白く枯らして、稲を守る。



®はバイエルグループの登録商標



ボデーガード[®]

はじめに

ボデーガード1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボは、バイエルクロップサイエンス(株)、

全国農業協同組合連合会、北興化学工業(株)が共同開発した新規化合物

テフリルトリオン(試験名:AVH-301)とバイエルクロップサイエンス(株)が開発した

ノピエをはじめとする1年生雑草に卓効を示すフェントラザミド(試験名:NBA-061)

を含む2種混合・水稻用初中期一発処理除草剤です。

新規有効成分テフリルトリオンは、ノピエを除くほとんど全ての一年生

ならびに多年生雑草に対し高い殺草活性を示します。

また、テフリルトリオンは白化作用を示し、スルホニルウレア系除草剤とは

作用性が異なるため、近年問題となっている

スルホニルウレア抵抗性雑草に対しても高い効果を示します。

本資料はボデーガード1キロ粒剤・フロアブル・ジャンボをご理解いただくため、

特長や使用方法および現在までに得られた知見についてまとめたものです。

ご使用の際にお役立ていただければ幸いです。

目次

04 _ 05 ボデーガードの特長

06 _ 07 有効成分の物理化学性と安全性

テフリルトリオンの作用特性

フェントラザミドの作用特性

08 _ 09 殺草スペクトラム

スルホニルウレア抵抗性雑草に対する殺草効果

難防除雑草に対する除草効果 特殊雑草に対する除草効果

10 _ 11 殺草スピード

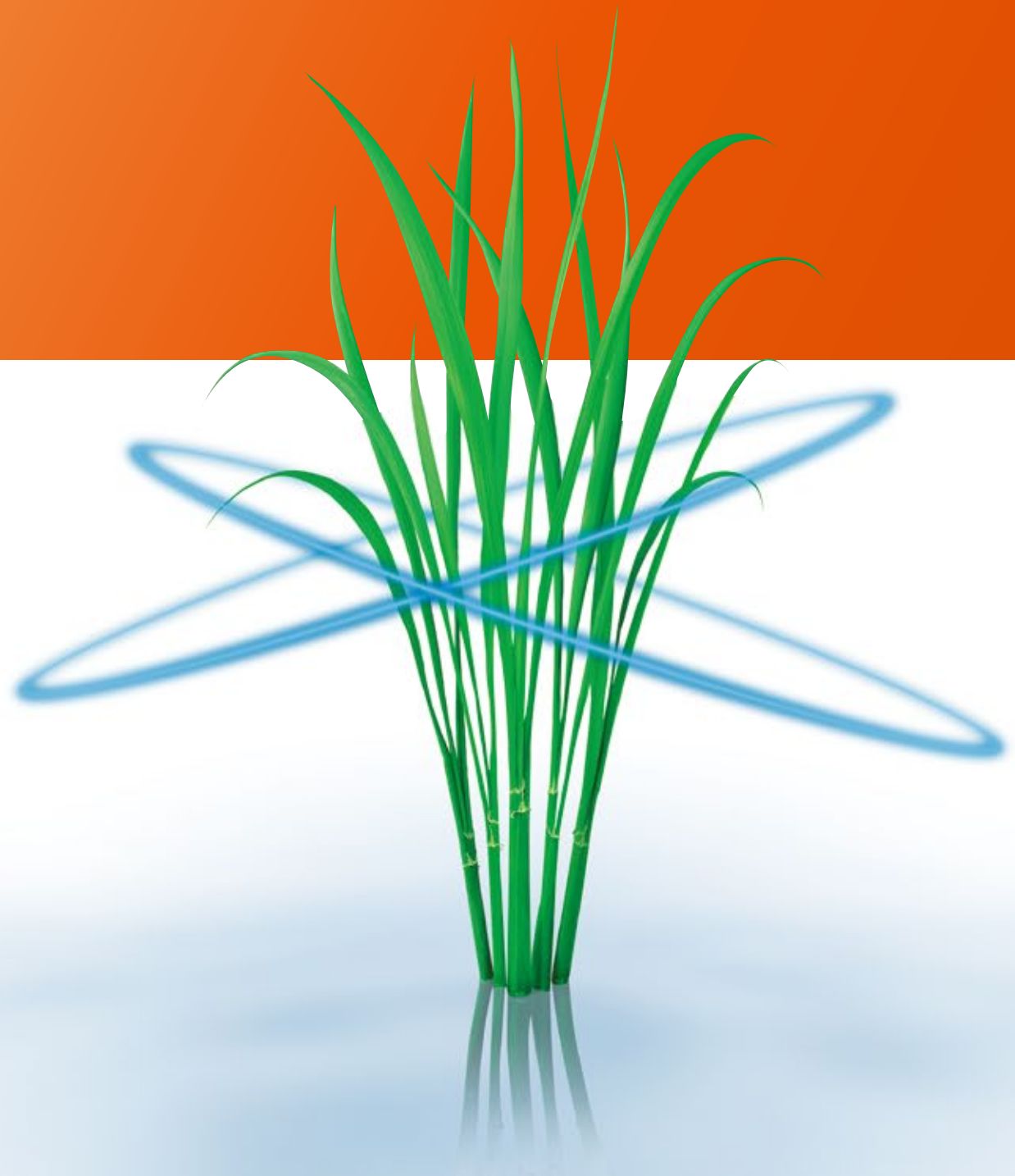
各種雑草に対する枯殺葉令限界 各種雑草に対する残効性

12 _ 13 移植水稻への安全性

14 _ 15 ボデーガード 1キロ粒剤

16 _ 17 ボデーガード フロアブル

18 _ 19 ボデーガード ジャンボ





ボデーガード

ボデーガードの特長

2成分で高い除草効果

ノビエをはじめとした一年生雑草から、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、ヘラオモダカ、ヒルムシロ、セリ、オモダカ、クログワイなどの多年生雑草に対し高い効果を示します。また、新規成分テフリルトリオンとフェントラザミドの2種混合剤なので、減農薬栽培にも適しています。

抵抗性雑草にも有効

近年問題となっているスルホニルウレア抵抗性雑草(ホタルイ類、アゼナ類、コナギ等)に対しても、新規成分テフリルトリオンが優れた活性を示します。

難防除雑草、特殊雑草にも有効

本剤は難防除雑草(セリ、オモダカ、クログワイ等)にも有効です。また、イボクサ、アシカキ、エゾノサヤヌカグサ、クサネム、アメリカセンダングサ、タウコギ等の特殊雑草に対しても効果があります。

白化症状を示し、殺草スピードが速い

薬剤処理後に雑草が白化作用を呈するので、効果の確認が容易です。また、異なる作用の両成分の共力作用で、殺草スピードが速くなります。

長期間雑草の発生を抑える

各種雑草に対して約40～50日間の残効が期待でき、通常の圃場条件では一回の散布で雑草を防除できます。

水稻に対する安全性が高い

水稻に対する選択性が高く、通常の圃場条件下で安心して使用できます。



有効成分の物理化学性と安全性

有効成分	テフリルトリオン (AVH-301)	フェントラザミド (NBA-061)
化学名	2-[2-クロロ-4-メシル-3-[(テトラヒドロフラン-2-イルメトキシ)メチル]ベンゾイル]シクロヘキサン-1, 3-ジオン	4-(2-クロロフェニル)-N-シクロヘキシル-N-エチル-4,5-ジヒドロ-5-オキソ-1H-テトラゾール-1-カルボキサミド
構造式		
融点	113.7～115.4℃	78.9～79.3℃
水溶解度	64.2g/L (pH7 20℃)	2.3mg/L (20℃)
人畜毒性	普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指している通称） 経口（ラット♀）LD ₅₀ ： > 2,500mg/Kg 経皮（ラット♂♀）LD ₅₀ ： > 2,000mg/Kg	普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指している通称） 経口（ラット♂♀）LD ₅₀ ： > 5,000mg/Kg 経皮（ラット♂♀）LD ₅₀ ： > 5,000mg/Kg
魚毒性	A類相当 コイ LC ₅₀ ： > 100mg/L (96hr) ミジンコ EC ₅₀ ： > 100mg/L (48hr)	B類相当 コイ LC ₅₀ ： 3.2mg/L (96hr) ミジンコ EC ₅₀ ： 0.1mg/L (48hr)

テフリルトリオンの作用特性

テフリルトリオンは雑草の根部、幼芽部、茎葉基部より吸収されます。雑草体内では光合成電子伝達系経路のプラストキノンの生合成に關与する4-HPPDに作用して、雑草の生育を抑制し、白化症状を發現して枯死させます。（白化症状は既に展開している葉ではなく、新たに展開してくる葉に現れます。）

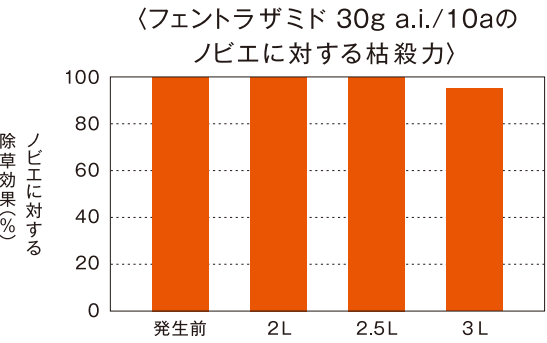


フェントラザミドの作用特性

フェントラザミドは雑草の根部、幼芽部より吸収されます。雑草体内では長鎖脂肪酸の生合成を阻害していると推定され、雑草の生育を強く抑制し、葉の濃緑化、奇形化を呈して枯死させます。2.5～3葉期のノビエに対し優れた殺草力を示し、残効も長い(50日程度)ので中干時期までノビエの発生を抑えます。

4-HPPD阻害の作用経路

植物体内に吸収されたテフリルトリオンは4-HPPD(*p*-ヒドロキシフェニルビルビン酸デオキシゲナーゼ)を阻害し、電子受容体のプラストキノンとビタミンE(α -トコフェロール)の生合成が阻害されます。プラストキノンの生合成が阻害されることにより光合成電子伝達系が低下し生長抑制を起こします。また、二次的にカロテノイドの生合成が阻害され、処理後に生長する組織ではカロテノイド減少に伴ってクロロフィルは光酸化し植物体は白化します。白化した組織では活性酸素消去に働くカロテノイドおよびビタミンEが減少したことによって、植物体内で発生した活性酸素を消去できなくなり壊死に至ります。



殺草スペクトラム

本剤はスルホニルウレア抵抗性雑草含め、ほとんどの水田雑草に対して優れた効果があります。

薬剤名	処 理 時 期	一年生雑草										多年生雑草									
		ノ ビ エ	カ ヤ ツ リ グ サ	コ ナ ギ	ミ ズ ア オ イ	ヘ ラ オ モ ダ カ	ア ゼ ナ	キ カ シ グ サ	ミ ゾ ハ コ ベ	ク サ ネ ム	イ ボ ク サ	ヒ メ ミ ソ ハ ギ	マ ツ バ イ	ホ タ ル イ	ミ ズ ガ ヤ ツ リ	ウ リ カ ワ	ヒ ル ム シ ロ	セ リ	シ ズ イ	ク ロ グ ワ イ	オ モ ダ カ
テ フ リ ル ト リ オ ン	雑 草 発 生 前	○	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○	○	◎	◎	◎	◎	○	○*	○*	○*
	ノビエ1.5葉期	△	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	△	○	◎	◎	◎	◎	○	○*	○*	○*
	ノビエ2.5葉期	×	◎	◎	◎	◎	◎	△	◎	◎	◎	△	○	◎	○	◎	◎	○	○*	○*	○*
フ ェ ン ト ラ ザ ミ ド	雑 草 発 生 前	◎	◎	◎	◎	○	○	◎	◎	×	×	◎	◎	△	△	×	×	×	×	×	×
	ノビエ1.5葉期	◎	◎	◎	◎	△	○	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	×	×	×	×	×	×
	ノビエ2.5葉期	◎	◎	○	○	×	△	◎	◎	×	×	◎	◎	×	×	×	×	×	×	×	×
ボ デ ー ガ ー ド	雑 草 発 生 前	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○*	○*	○*
	ノビエ1.5葉期	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	○*	○*	○*
	ノビエ2.5葉期	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	○	○*	○*	○*

◎:極大、○:有効、△:やや不十分、×:不十分 赤字の草種はスルホニルウレア抵抗性雑草を含む
*:本剤の一回使用では完全に防除できない場合があるので、これらの雑草の防除には有効な薬剤との組合わせで使用する。



スルホニルウレア抵抗性雑草に対する殺草効果

本剤は問題となっているスルホニルウレア抵抗性雑草に対しても高い効果を示します。



・試験場所:アベンティスクロップサイエンス シオノギ(株) 明野研究所 ・試験規模:1/5000aワグネルポット ・試験土壌:荒木田土壌
・処理時期:ホタルイ 2葉期 アゼナ 2対 ミズアオイ 1.5葉期 コナギ 1.5葉期

難防除雑草に対する除草効果

本剤はオモダカ、クログワイに対しても高い効果を示します。



特殊雑草に対する除草効果

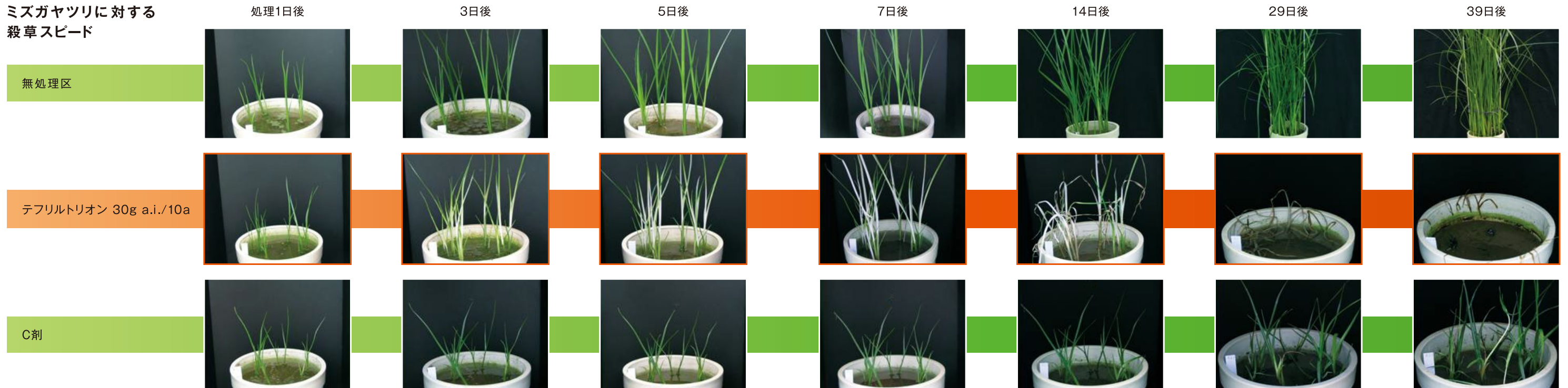
本剤はイボクサ、クサネムに対しても高い効果を示します。



殺草スピード

テフリトリオンの殺草反応は速効的で、気象条件等にもよりますが、およそ処理してから3日目には白化症状を示します。温度が高いほど、白化症状の発現が早くなる傾向があります。

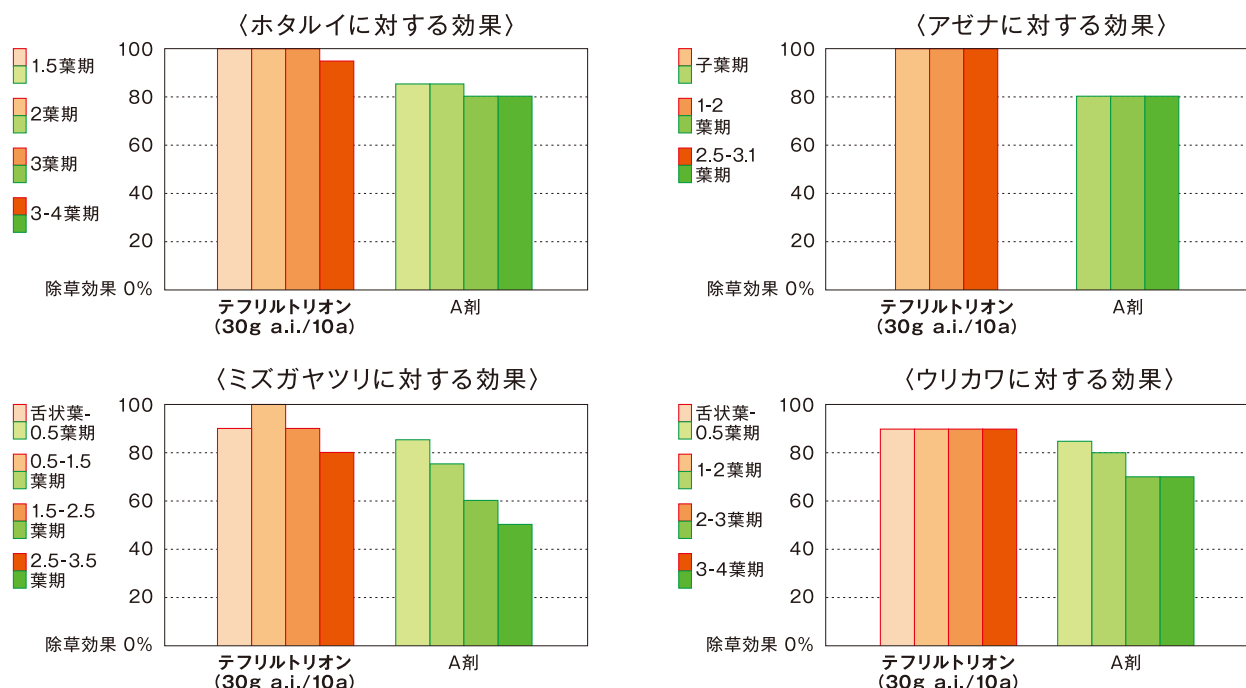
ミズガヤツリに対する 殺草スピード



・試験場所：バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所 ・試験規模：1/5000aワグネルポット ・試験土壌：沖積軽埴土 ・処理時の雑草葉令：ミズガヤツリ 1-1.5葉期

各種雑草に対する枯殺葉令限界

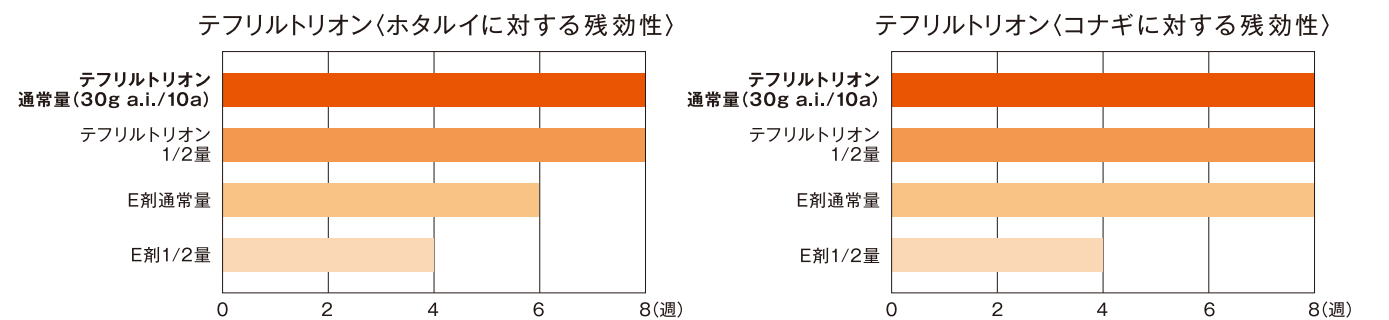
本剤は各種雑草の発生前から3葉期まで十分な除草効果を示します。



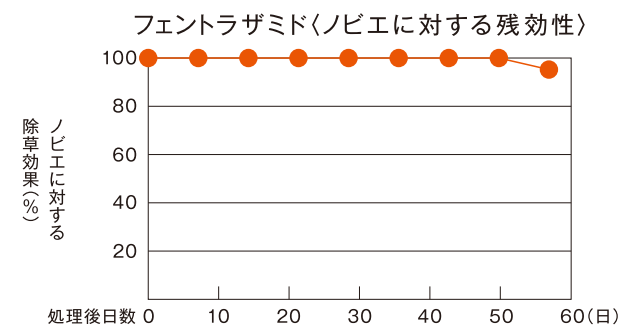
・試験場所：バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所 ・試験規模：1000cm²ポット、2連制 ・試験土壌：沖積軽埴土
・漏水条件：0.5cm/日 漏水(試験期間中実施) ・調査：処理4週間後に達観調査

各種雑草に対する残効性

本剤の各種雑草に対する残効期間は約40~50日間と長く、通常の条件下では一回の散布で雑草を防除できます。



・試験場所：全農 営農・技術センターポット試験 ・試験方法：薬剤処理2,4,6,8週間後に種子を播種し、播種4週間後に達観調査した。
・処理量：テフリトリオン通常量 30g a.i./10a



・試験場所：バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所 温室内ポット試験
・試験方法：ノビエの催芽種子接種法(減水深は試験期間中 0.5cm/日)
・処理量：フェントラザミド 30g a.i./10a
・評価基準：90%以上の除草効果を示した期間

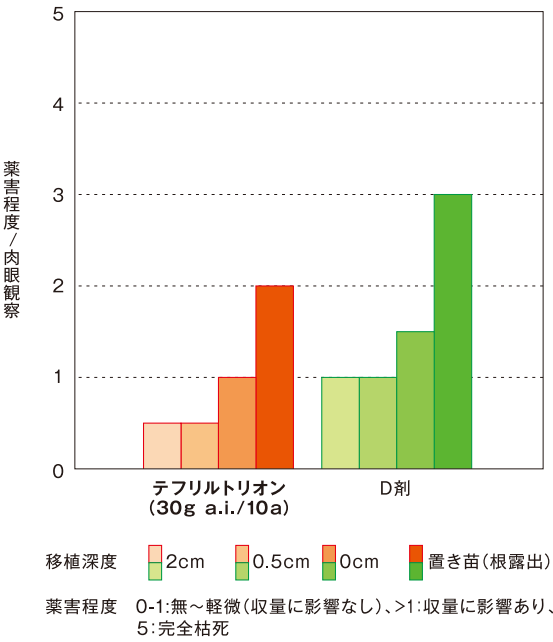
移植水稻への安全性

本剤は水稻に対する選択性が高く、通常の圃場条件下では安心して使用できます。
しかしながら、以下の条件では薬害が発生する恐れがあるので使用を避けてください。

- ！砂質土壌の水田及び漏水田
（減水深 2cm/日以上）
- ！軟弱な苗を移植した水田
- ！極端な浅植えの水田
及び浮き苗の多い水田
- ！稲の根が露出している水田

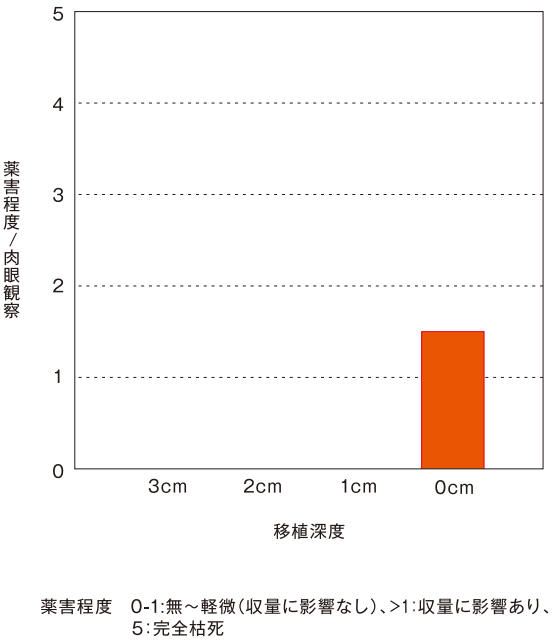


〈テフリルトリオンの水稻移植深度別薬害試験〉



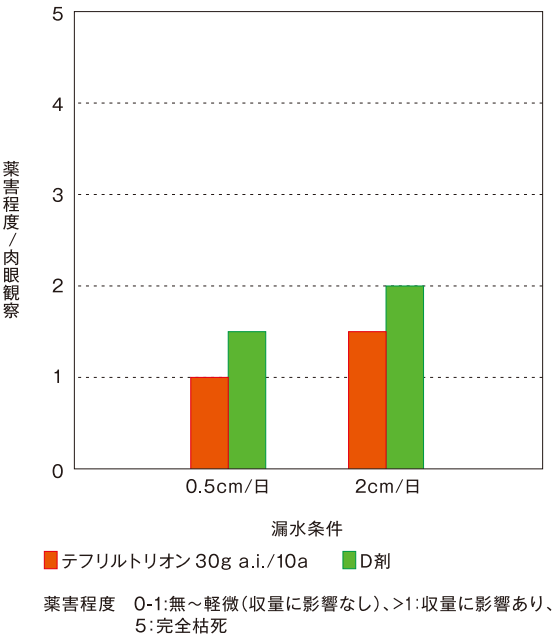
・試験場所: バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所
・試験規模: 1000cm²ポット ・試験土壌: 沖積軽埴土
・移植深度: 置き苗(根露出)、0cm(根を土中に埋め込み)
・処理量: テフリルトリオン 30g a.i./10a
・処理時期: 移植5日後 ・調査: 処理28日後

〈フェントラザミドの水稻移植深度別薬害試験〉



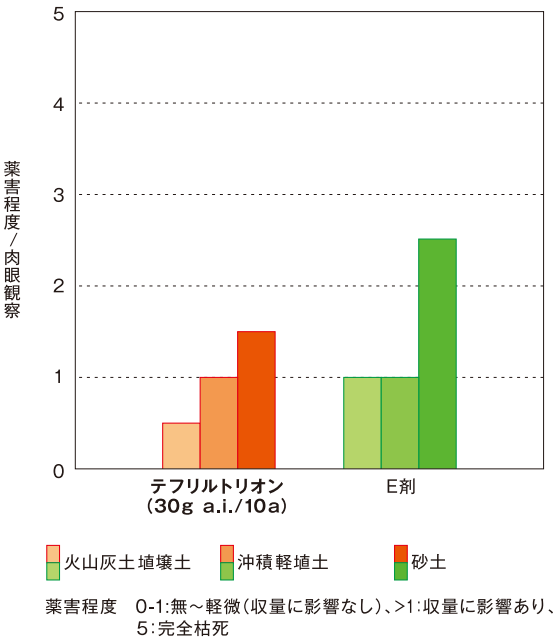
・試験場所: バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所
・試験土壌: 埴土 ・処理量: フェントラザミド 30g a.i./10a
・減水深: 0.5cm/日(試験期間中)
・処理時期: 移植同日(イネ2～3葉期)

〈テフリルトリオンの漏水程度別薬害試験〉



・試験場所: バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所
・試験規模: 1000cm²ポット、3連制 ・供試植物: 水稻(品種: 日本晴)
・試験土壌: 火山灰土埴壤土 ・移植深度: 2cm
・処理量: テフリルトリオン 30g a.i./10a ・処理時期: 移植5日後
・漏水条件: 0.5cm/日 漏水(試験期間中実施)
2cm/日 漏水(処理後7日間実施し、その後0.5cm/日 漏水)
・調査: 処理4週間後

〈テフリルトリオンの土壌別薬害試験〉



・試験場所: バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所
・試験規模: 1000cm²ポット、3連制 ・供試植物: 水稻(品種: 日本晴)
・試験土壌: 火山灰土埴壤土、沖積軽埴土、砂土 ・移植深度: 2cm
・処理量: テフリルトリオン 30g a.i./10a ・処理時期: 移植5日後
・漏水条件: 0.5cm/日 漏水(試験期間中実施)
・調査: 処理4週間後



水稲用一発処理除草剤

ボデーガード® 1キロ粒剤



有効成分の含有量および安全性

農林水産省登録：第22612号	製剤の安全性
種類名：テフリルトリオン・フェントラザミド粒剤	人畜毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指していう通称）
含有量：テフリルトリオン・・・・・・3.0%	経口（ラット♀）LD ₅₀ > 2,000mg/Kg
フェントラザミド・・・・・・3.0%	経皮（ラット♂♀）LD ₅₀ > 2,000mg/Kg
試験名：BCH-032-1キロ粒剤	魚毒性：コイ LC ₅₀ (96h) > 1,000mg/L
	オオミジンコ EC ₅₀ (48h) 370mg/L

適用雑草と使用方法

（2018年1月現在の登録内容）

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用回数*	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ クログワイ オモダカ エゾノサヤヌカグサ シズイ コウキヤガラ	移植時	1kg/10a	本剤 1回	田植同時 散布機で施用
		移植直後～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで		テフリルトリオン 2回以内	灌水散布 又は 無人ヘリコプター による散布
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで		フェントラザミド 1回	

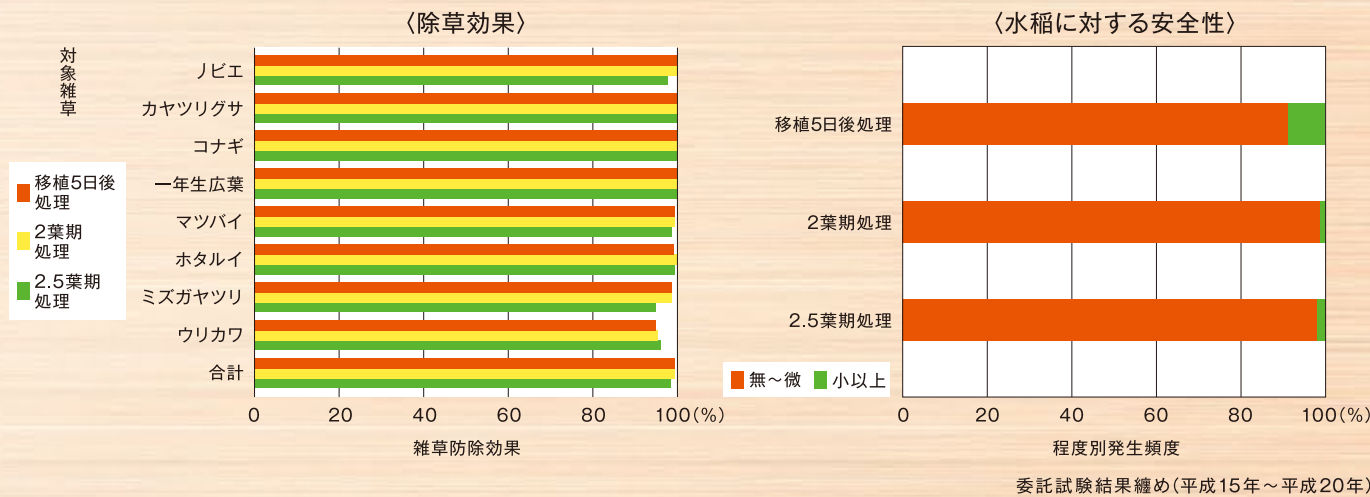
*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、移植水稲についてはノビエの3葉期までに、直播水稲については稲1葉期からノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにしてください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、エゾノサヤヌカグサ、ウリカワは2葉期まで、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラは発生始期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、シズイは草丈3cmまでが本剤の散布適期です。
- オモダカ、クログワイ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。また、オモダカ、クログワイ防除は、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて連年施用することにより、さらに効果が向上します。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）で、まきむらが生じないように均一に散布してください。また、極端な浅水や深水での使用はさけてください。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 浅湛え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm/日以上）
 - ②軟弱苗を移植した水田
 - ③極端な浅湛えの水田及び浮き苗の多い水田
- 直播水稲に使用する場合は、薬害をさけるため稲の1葉期以降に使用し、稲の根が露出している時の使用はさけてください。
- 処理後に著しい低温が続くことが予想される場合は、生育抑制などの薬害を生じることがあるため処理時期を遅らせてください。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合がありますので使用はさけてください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

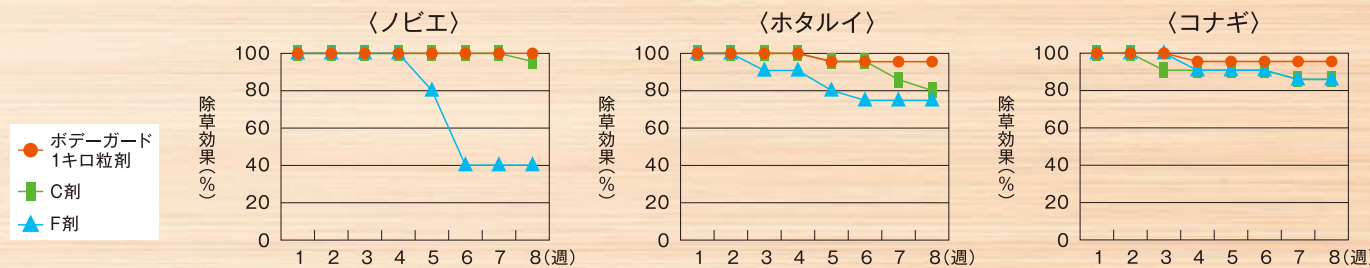
除草効果と水稲に対する安全性

本剤は移植後5日からノビエ2.5葉期のいずれの処理時期でも各種雑草に対し優れた効果を発揮します。また、移植水稲に対しても移植後5日からノビエ2.5葉期のいずれの処理時期でも十分な安全性を示します。



残効性

本剤はノビエ、ホタルイ、コナギのいずれの草種に対しても約40～50日と長い残効を示します。



・試験場所：バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所 ・試験規模：1000cm²ポット ・試験土壌：沖積軽塩土
・漏水条件：処理翌日から1cm/日を5日間実施 ・処理後1週間毎に種子または混合土を土壌表面に接種

上手な使い方

使用時期は、ノビエ3葉期まで、ただし、移植後30日までです。一発処理の目安を日数で示しました。ノビエ発生状況を確認して散布してください。散布に際しては水の出入りを止め、十分な湛水状態（水深3～5cm）を保ち、田面の露出がないようにしてください。



ごくまれに水稲に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。砂壤土や早期栽培地帯では、薬害のおそれがあるので、稲の活着を待ってから本剤を処理してください。



水稲用一発処理除草剤

ボデーガード®フロアブル



ボデーガード®

有効成分の含有量および安全性

農林水産省登録：第22616号

製剤の安全性

種類名：テフリルトリオン・フェントラザミド水和剤

人畜毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく毒物・劇物に該当しないものを指している通称）

含有量：テフリルトリオン……5.8%

経口（ラット♀） LD₅₀ > 2,000mg/Kg

フェントラザミド……5.8%

経皮（ラット♂♀） LD₅₀ > 2,000mg/Kg

試験名：BCH-052 フロアブル

魚毒性：コイ LC₅₀(96h) > 1,000mg/L

オオミジンコ EC₅₀(48h) > 1,000mg/L

適用雑草と使用方法

（2018年1月現在の登録内容）

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用回数*	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ エゾノサヤヌカグサ コウキヤガラ シズイ	移植後5日～ノビエ3葉期 ただし、 移植後30日まで	500mℓ/ 10a	本剤 1回 テフリルトリオン 2回以内	原液湛水散布 又は 水口施用 又は 無人ヘリコプター による滴下
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ	稲1葉期～ノビエ3葉期 ただし、 収穫90日前まで		フェントラザミド 1回	原液湛水散布 又は 無人ヘリコプター による滴下

*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

■使用量に合わせ秤量し、使いきってください。

■本剤は貯蔵中に分離することがあるので、使用に際しては容器をよく振ってください。

■本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、移植水稲については田植え5日後からノビエの3葉期までに、直播水稲については稲1葉期からノビエの3葉期までに、時期を失ないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにしてください。ホタルイは3葉期まで、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、エゾノサヤヌカグサは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは発生始期が本剤の散布適期です。クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のものまでは、十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。

■原液湛水散布の場合は、水の出入りを止めて湛水状態（水深3～5cm）のまま本剤を水田全面にゆきわたるように散布してください。水口施用の場合は、入水時に本剤を水口に施用し、流入水とともに水田全面に拡散させてください。処理後田面水が通常の湛水状態（湛水深3～5cm）に達した時に必ず水を止め、田面水があふれ出ないように注意してください。

■散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。

■浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行ってください。

■以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。

①砂質土壌の水田及び漏水田（減水深2cm／日以上）

②軟弱苗を移植した水田

③極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田

■直播水稲に使用する場合は、薬害をさけるため稲の1葉期以降に使用し、稲の根が露出している時の使用はさけてください。

■著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさけてください。

■散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。

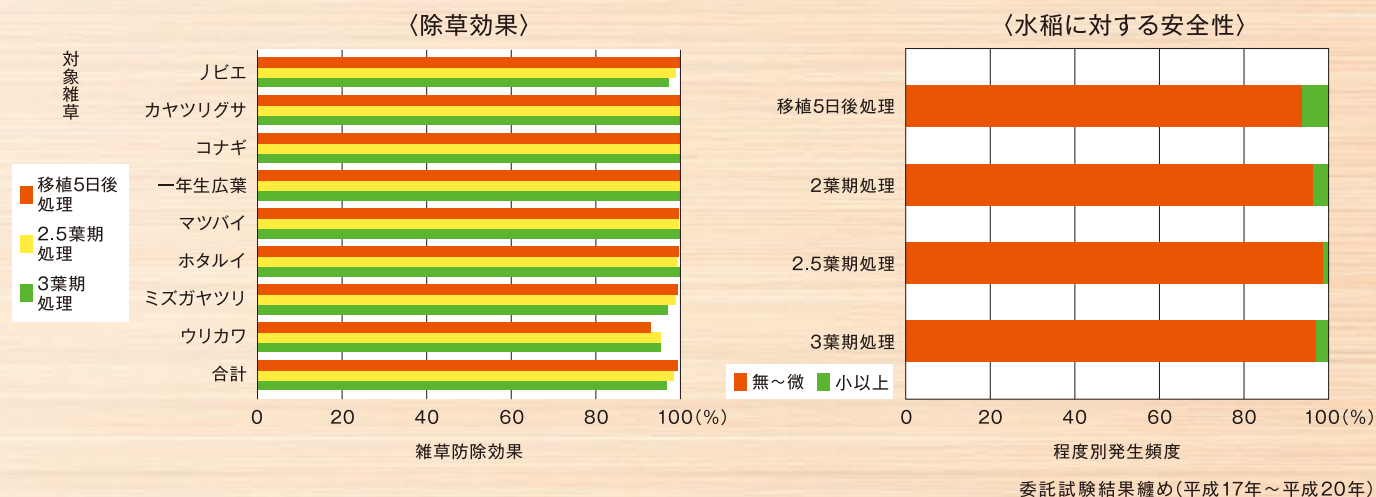
■蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにしてください。

■本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意してください。

■本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

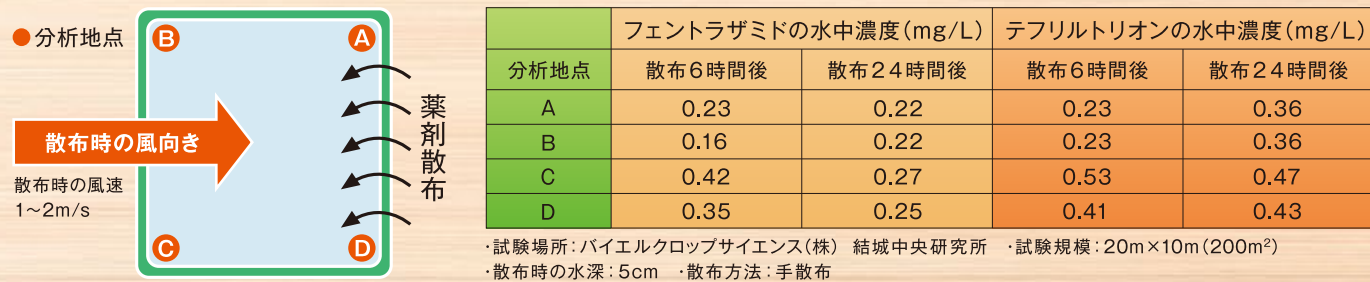
除草効果と水稲に対する安全性

本剤は移植後5日からノビエ3葉期のいずれの処理時期でも各種雑草に対し優れた効果を発揮します。また、移植水稲に対しても移植後5日からノビエ3葉期のいずれの処理時期でも十分な安全性を示します。



拡散性

ボデーガードフロアブル散布6時間後には、フェントラザミド、テフリルトリオン両有効成分ともに圃場の隅まで拡がっており、24時間後には圃場全体に均一に拡散していた。



上手な使い方

使用時期は、ノビエ3葉期まで、ただし、移植後30日までです。

一発処理の目安を日数で示しました。ノビエ発生状況を確認して散布してください。

散布に際しては水の出入りを止め、十分な湛水状態（水深5cm程度）を保ち、田面の露出がないようにしてください。



本剤が多量に稲体に付着した場合に、付着した葉ならびに直後に伸展してくる新葉1～2枚に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。なお、ノズル散布をした場合、白化症状が強く出ることがあります。



水稲用一発処理除草剤

ボデーガード[®]ジャンボ



ボデーガード[®]

有効成分の含有量および安全性

農林水産省登録：第22617号

種類名：テフリルトリオン・フェントラザミド粒剤

含有量：テフリルトリオン……7.5%
フェントラザミド……7.5%

試験名：BCH-062 ジャンボ

製剤の安全性

人畜毒性：普通物（「毒物および劇物取締法」にもとづく
毒物・劇物に該当しないものを指している通称）

経口（ラット♀） LD₅₀ > 2,000mg/Kg

経皮（ラット♂♀） LD₅₀ > 2,000mg/Kg

魚毒性：コイ LC₅₀(96h) 708mg/L
オオミジンコ EC₅₀(48h) 430mg/L

適用雑草と使用方法

（2018年1月現在の登録内容）

作物名	適用雑草名	使用時期	使用量	使用回数*	使用方法
移植水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ヘラオモダカ ミスガヤツリ ウリカワ クログワイ オモダカ ヒルムシロ セリ エノノサヤスカグサ コウキヤカラ シズイ	移植後5日～ノビエ2.5葉期 ただし、 移植後30日まで	小包装 (パック) 10個 (400g)/ 10a	本剤 1回	水田に 小包装 (パック) のまま 投げ入れる
直播水稲	水田一年生雑草 及び マツバイ ホタルイ ミスガヤツリ ウリカワ ヒルムシロ セリ	稲1葉期～ノビエ2.5葉期 ただし、 収穫90日前まで		フェントラザミド 1回	

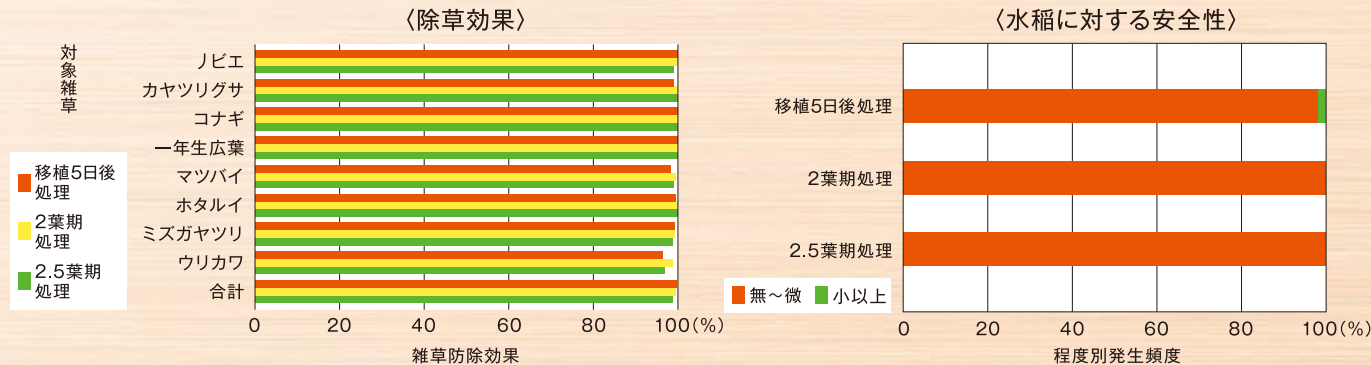
*印は収穫物への残留回避のため、本剤およびそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示します。

注意事項

- 必要量を購入し、できるだけ残すことなく使いきってください。
- 本剤は雑草の発生前から生育初期に有効なので、移植水稲については田植え5日後からノビエの2.5葉期までに、直播水稲については稲1葉期からノビエの2.5葉期までに時期を失しないように散布してください。なお、多年生雑草は生育段階によって効果にふれが出るので、必ず適期に散布するようにしてください。ホタルイ、ヘラオモダカ、ミスガヤツリ、ウリカワ、エノノサヤスカグサは2葉期まで、ヒルムシロは発生期まで、セリは再生前から再生始期まで、クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは発生始期までが本剤の散布適期です。クログワイ、オモダカ、コウキヤガラ、シズイは発生期間が長く、遅い発生のもものでは十分な効果を示さないで、必要に応じて有効な後処理剤と組み合わせて使用してください。
- 散布の際は、水の出入りを止めて湛水状態（水深5～6cm）で、散布してください。極端な浅水や深水での使用はさけてください。本剤は小包装（パック）のまま10アール当たり10個の割合で水田に均等に投げ入れてください。
- 散布後3～4日間はそのまま湛水を保ち、田面を露出させないようにし、散布後7日間は落水、かけ流しはしないでください。また、入水は静かに行ってください。
- 浅植え、浮き苗が生じないように、代かき、均平化及び植付作業はていねいに行ってください。未熟有機物を使用した場合は、特にていねいに行ってください。
- 以下の条件では薬害を生じるおそれがあるので使用をさけてください。
 - ①砂質土壌の水田及び漏水水田（減水深2cm／日以上）
 - ②軟弱苗を移植した水田
 - ③極端な浅植えの水田及び浮き苗の多い水田
- 直播水稲に使用する場合は、薬害をさけるため稲の1葉期以降に使用し、稲の根が露出している時の使用はさけてください。
- 著しい多雨条件では除草効果が低下する場合があるので使用はさけてください。
- 散布田の田面水を他の作物に灌水しないでください。
- 本剤はその殺草特性から、いぐさ、れんこん、せり、くわいなどの生育を阻害するおそれがあるので、これら作物の生育期に隣接田で使用する場合には十分に注意してください。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意するほか、別途提供されている技術情報も参考にして使用してください。特に初めて使用する場合や異常気象の場合には、病害虫防除等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

除草効果と水稲に対する安全性

本剤は移植後5日からノビエ2.5葉期のいずれの処理時期でも各種雑草に対し優れた効果を発揮します。また、移植水稲に対しても移植後5日からノビエ2.5葉期のいずれの処理時期でも十分な安全性を示します。



委託試験結果纏め（平成18年～平成20年）

拡散性

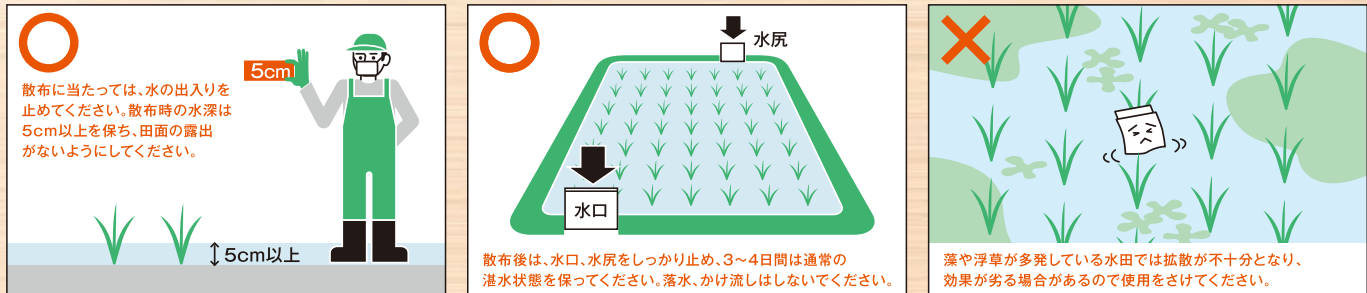
ボデーガードジャンボは散布後、約5秒で崩壊が始まり、速やかに田面水表面を拡散していきしました。本剤の崩壊・拡散性は極めて良好で、約1分30秒後には拡張が完全に終了しました。



・試験場所：バイエルクロップサイエンス(株) 結城中央研究所 ・試験規模：20m×15m(300m²) ・散布時の水深：5cm ・散布方法：手散布

上手な使い方

使用時期は、ノビエ2.5葉期まで、ただし、移植後30日までです。一発処理の目安を日数で示しました。ノビエ発生状況を確認して散布してください。散布に際しては水の出入りを止め、十分な湛水状態（水深5～6cm）を保ち、田面の露出がないようにしてください。



※パックは水溶性のフィルム（WSB）です。ぬれた手で扱わないでください。 ※パックは破らずにそのまま投げ込んでください。

ジャンボ剤のパックが固まっている場合は、手で軽くもみほぐしてから投げ入れてください。拡散が不十分な場合などに、まれに水稲に白化症状が認められる場合があります。しかしながら、その後は正常な葉が伸展してくるので、生育に影響を及ぼすことはほとんどありません。